

令和2年度 さいたま市立浦和中学校・高等学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立浦和中学校・高等学校
学校運営協議会

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

○高等学校の評価

- ・コロナ禍で行事縮小による中高連携評価の低下は当然である。今後行事以外の部分での交流として卒業生講演のミニチュア版のような内進生と中学生の交流を試みる等きっかけができればよい。
- ・行事縮小となり残念な1年であったが、生徒たちからそれにかわる何かが出てくるような学校環境であってほしい。また内進生と高入生の切磋琢磨は今まで以上に期待する。
- ・中高一貫校としての特色を活かし教育活動を実践し地域からも高い評価が得られている。
- ・高入生は入学後クラスが内進生と一緒にならないので交流の場がないという実感のようである。
- ・生徒の満足度で「やる気を引き出す」が高評価であることは、先生方が多様な学習の在り方を常に研究し本校に相応しい教育課程を作り実践している成果と考える。
- ・大学受験は過程であることをふまえて指導してもらおうと生徒の安心感につながる。
- ・働き方改革はPTAにもあてはまるので、今まで以上に学校との連携をしていけたらと考える。
- ・第1志望を諦めさせない指導と面談の充実は生徒において心強い対応である。また、規律に関する肯定回答が高いことは日頃の指導、教育が行き届いている結果である。
- ・今後も生徒が不測の事態においても心のバランスを保てるよう配慮を続けてほしい。
- ・進路を真剣に考えさせ目標に向けての意識意欲の継続をもたせたい。
- ・進路指導について生徒の特性や希望を生かした取組を実施し個々の自己実現に寄与している。
- ・部活動も大変盛んであると感じている。文武両道がすべての子供に達成できるよう指導を願う。
- ・教育効果とは結果のみならずその過程においての内的な経験から何をの得るかが人的な成長につながる。そのためのサポート体制が十分にできている。
- ・今後も国際交流活動の在り方を工夫し、楽しみにしていた生徒の期待に応えてほしい。
- ・e-paでの配信はHPより確実に届くので、より良い活用を期待する。
- ・グローバルな視野を広げ世界で活躍できる人体育成に向けた取組が実践されている。
- ・グローバル社会において有事の際に何ができるかを考え取り組める力を養う教育を期待する。
- ・ICTを効果的に活用しオンラインでのプレゼン等の実践は小学校が学ばねばならない。
- ・校内に外国を味わえる活動が大宮国際のように存在すれば良いと思う。
- ・国際交流の形態は今後明らかに新しい時代を迎える。その為の土台作りができたのではないかな。

○中学校の評価

- ・実際の取組が素晴らしく生徒の評価も高いが、保護者の評価が少し劣っている。
- ・安全管理、保健管理のポイントがもう少し高くなることを期待する。
- ・仲間を大切にしながら共に成長する場面を引き続き提供してほしい。中高一貫校は6年間がイメージできること、内進生の大学進路状況を知りえることは本校の強みである。
- ・中高一貫校として発足してから地域の風評が高く、わが故郷の学校としてうれしい限りである。
- ・放課後の自習時間を普段も持たせてほしい。
- ・先頭をきって「主体的、対話的で深い学び」「STEAMS」教育を推進しICTを効果的に活用しての実践成果がアンケートから伝わる。また道徳教育や生徒指導も丁寧に行っていることが素晴らしい。
- ・地元中学校として今後とも地域行事等への関連で連携が必要と考えている。
- ・中高教員の連携はある程度とれていると思うが、組織上での連携がもう少し進められると良い。
- ・内進生は中学受験時はそれなりに力のある子たちを集めたが、3年の間に目標を見失ってしまう子供も少なからずいると感じる。高校受験がないので、十分見守り導いてもらえればと思う。
- ・達成度の部分には詳細な解説（文言）を載せた方が良い。具体性を高める記述を期待したい。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

貴重なご意見をいただき、来年度に向けて本校の教育活動の充実のため参考にさせていただきます。

校長氏名 吉野 浩一